

Spring

Summer



つながる仲間
広がる世界



ボランティアセンター Newsletter

第2号

2019.4.1 Vol.02



Winter

Fall



個人ボランティア (個人活動)

田邊智佳 (たなべ ちか) さん

人文学部心理学科卒業生



2019年3月に人文学部心理学科を卒業した田邊智佳 (たなべ ちか) さんは、個人で活躍する学生ボランティアとして在学中の4年間で、地域に深く関わり数々の活動を行ってきました。

高校2年生の時に、担任の先生に更生保護のボランティア団体BBSを紹介してもらいました。関係団体で活動していた祖母の後押しもあり、私はBBSでのボランティア活動を始めました。当時は罪を犯した人たちとの関わり方がよく分からず、慌てるばかりでした。明星大学に入学し、活動の範囲を広げようと「災害復興」「子ども」「高齢者」など、数々の分野に飛び込みました。ボランティアを始める前は、人と話すことに苦手意識を持っていました。人との関わりや傾聴を重ねたお陰で、身構えず会話が出来るようになりました。むしろ今では話を聴くのが上手いと言ってもらえることが増え、自分自身の自信にもつながり、就職活動でも強みになりました。

ボランティアの良さをアルバイトと比較すると、アルバイトで得られるものは「お金」であり、それは使えばなくなってしまうものです。それに対して、ボランティアで得られるものは「感謝され、喜んでいただけること」です。人々の役に立っていると実感すると共に、喜んで貰えた相手の嬉しそうな顔を見て自分も温かい気持ちになり、沢山の幸せを感じます。それは生涯なくなるものではないので、私の宝物です。

社会人になっても、ボランティアでの経験を活かして進んでいきたいと思っています。



いわき市の仮設住宅の方々との交流



被災された方々への傾聴活動

学生たちのボランティア活動報告&紹介

須崎貴寛 (すぎき たかひろ) さん

経営学科多摩ブランド創生コース3年



自分を見つめ直す活動。それが、私にとってのボランティア活動です。

ボランティアを始める前は、自分の目指す方向性に疑問を抱いたり、他にやりたいことがあるのではないかと迷ったりしました。そんな時に参加した「日野市ジュニアリーダー講習会」の活動は、私自身に大きな影響を与えてくれました。この活動は、地域の次世代のリーダーの育成を目的とし、市内の小学校5年生から中学3年生までの子どもたちを対象に年10回の講習会を開催し、キャンプなどの野外活動や地域交流を体験してもらうというものです。私たちボランティアは、子どもたちのために講習会の企画・運営を行います。しかし振り返ってみると、私たちボランティアの方が、子どもたちから多くのことを教わっていることに気づかされました。ジュニアリーダー講習会が行う異年齢交流は、子どもたちの成長にとっても良い影響を与えます。私はジュニアリーダーの活動を多くの人に知ってもらうために、地域懇談会への参加や小学校の放課後子ども教室「ひのつち」への人材派遣の提案などを行ってきました。これらは私にとって貴重な経験になった一方で、ボランティア活動への思いの温度が、人それぞれ違うことに気づかされました。自分が素晴らしいと思っても、必ずしも皆が同じ思いであるとは限らないのです。「余計な仕事を増やすな」と迷惑がられたり、興味を示してもらえなかったりという経験は数え切れません。ボランティアを通して様々なことに挑戦するたびに失敗も繰り返しましたが、すべてが私を成長させてくれた貴重な経験となっています。

今後私は、公民館の事業である「ひの市民大学」の企画運営委員として、子ども・若者に向けた講座の企画・運営を行っていきます。また大学の所属ゼミでは、地域活性化に取り組んでいきます。ボランティア活動と大学での学びを通して、この地域へさらに貢献し、また私自身もより良い未来へと向かって進んでいきたいと思っています。



日野市ジュニアリーダー講習会



青少年育成会の里いもの植え付け

ボランティアサークル (団体活動)



ボランティアセンターの
マスコット「きらボちゃん」



■防犯ボランティア隊MCAT: 交通功労団体として表彰

防犯ボランティア隊MCAT (エムキャット)

創立2010年 部員数30名

MCATの名前の由来は、Meisei、Community、Action、Teamの頭文字から来ています。「地域の安心・安全まちづくり」をモットーに、日野警察や日野市役所などと協力して防犯活動と地域活動を行っています。防犯活動では、大学周辺の見回りパトロールや日野警察とともに駅前交通安全・振り込み詐欺防止などの呼びかけを行っています。地域活動では、ひの新選組まつり、七夕まつり、もみじ灯路まつりなどへの参加や日野市民会館での音楽イベントのお手伝いをしています。

私たちは地域密着型のボランティア隊です。日々取り組んでいる見回り活動は、私たち大学生が街を歩くことにより、地域の若返りや活性化にもつながります。また、地域の方々にMCATの存在を知っていただき、顔見知りの関係になることで、安心して暮らしていただけるようになります。見回り活動中に「おはようございます」と挨拶を交わすことで、地域の人との交流を深めることができます。見回り活動だけでなく、地域活動でも同じ効果があります。地域のお祭りに私たち大学生が参加することで、地域の活性化に貢献しています。七夕まつりで地域の方々とよさこいを一緒に踊ったり、もみじ灯路の灯籠の絵を描いたりする活動は、地域交流の絶好の場となっています。

長年、交通安全活動を積極的に取り組んできたことが評価され、2018年12月に警視庁交通部長・関東交通安全協会連合会会長連盟から表彰状をいただきました。2018年10月には、「平成30年度地域安全都民大会」で登壇の機会も得ました。また2019年1月には、テレビ朝日の東京サイト「輝く若者たち」という番組で、東京で社会貢献活動に取り組む若者として、私たちMCATの活動が紹介されました。

おもしろサークルSMILY (スマイリー)

創立2006年 部員数200名

「SMILY」は、将来教師になりたい人、子どもが好きの人が集まって、2006年に結成された団体です。日頃様々な制限を受けることの多い発達障害のある子どもたちを大学に招き、私たち学生が考えた遊びを通して、自分らしくのびのびと思いっきり楽しんでもらおうという活動を定期的に行っています。サークル内での学生同士の交流も大切にし、夏合宿、春合宿、スポーツ大会なども企画しています。

昨年度は、一般財団法人サポートセンターが全国の大学を対象に実施している「平成30年度・第16回学生ボランティア団体に対する助成」に応募し採択されました。この事業は、同財団が「自由な発想と行動によって、社会貢献を計画・実行している学生団体を対象に、団体組織の活性化やネットワーク作りなどを経済的に支援し、社会貢献活動を応援する」という趣旨のもと、全国の学生ボランティア団体に助成金を支給しているものです。2019年2月5日には授賞式に出席し、式後の懇親会では他大学のボランティア団体と交流することができました。

これからもSMILYみんなで協力し交流を深め、SMILYの願いである「障害理解」がもっと進むように頑張ります。



■おもしろサークルSMILY:
教室に「おとぎ話」を再現

おとぎ話探索で乗る船



■Freedom Music: 熊本県阿蘇市の仮設住宅を訪問

Freedom Music (フリーダム ミュージック)

創立2017年 部員数20名

音楽を通して、幅広い世代の方々へ勇気と元気と感動を届けるために、音楽ジャンルを問わずに活動しています。

私たちは、2017年5月に明星大学教育学部教育学科音楽コースの学生が中心となって立ち上げた音楽ボランティアサークルです。大学近隣を中心にお祭りなど地域の行事をはじめ、施設イベント・高齢者の会への出演など幅広く活動しています。夏休みには熊本県阿蘇市で「熊本ふれあいコンサート」を開催しました。昨年初参加した学園祭では、身近な材料を使って、太鼓などの手作り楽器で子どもたちと交流しました。そして、2019年3月30日には、第1回定期演奏会を北野市民センターで開催しました。

私たちの活動目標は「聴く人と共に楽しめる演奏をし、日々精進していく」です。また、スローガンとして「Freedom 輝け! 感動! Share happy!」を掲げています!

いわき合同 ボランティア 活動



福島県

いわき市

被災地・福島県いわき市災害公営住宅を訪問

2011年8月より開始した「いわき合同ボランティア活動」は、2019年3月で16回目を迎えました。私たちはいわき市の被災者の方々に寄り添い、喜んで頂ける支援活動を目指しています。以前は仮設住宅での足湯カフェを、そして現在はいわき市災害公営住宅永崎団地での地域交流活動を行っています。

この地域は、津波被害者が暮らすいわき市災害公営住宅と原発被害者が暮らす県営災害公営住宅が隣接しています。学生たちは、境遇の違うこの二つの公営住宅で生活する方々の交流に心を砕き、ボランティア活動を行っています。毎年、事前にスタッフと学生でいわき市を訪ね、いわき市社会福祉協議会や災害公営住宅自治会の方々との情報交換・打ち合わせを行い、学生の手で企画・準備を進めています。明星大学、いわき明星大学NGA、東北大学福興Youthの合同で、子ども向けと高齢者向けのイベントを企画し、幅広い世代の方々に楽しんで頂けるように趣向を凝らしています。

学生たちは、子どもたちと一緒に公園遊びや化学実験「ペットボトルで虹をつくる」、「スライムづくり」を、また大人の方々とはお茶とおしゃべりを楽しみ、一緒にフォトフレーム作りをしました。学生たちとの記念写真を早速フォトフレームに入れ、持ち帰って頂きました。他にもビンゴ、イントロドン、学生の特技の披露など盛りだくさんの企画を用意し、楽しく心温まる時間を共有できました。最後に参加者の皆さんより、「学生さんたちとおしゃべりをしていたら気持ちが明るくなった」、「次回も楽しみにしていますね」、「ありがとう」といった温かく有り難い言葉を頂き、学生たちは大感激でした。そして、また皆さんとお会いしたいという思いでいっぱいになりました。



子どもたちと公園で水鉄砲遊び



集会所で高齢者と交流

内容

- 1日目 いわき明星大学にて前日準備、自己紹介、班別準備、傾聴講習会を実施
- 2日目 いわき市営永崎団地集会所、集会所隣接の公園にてボランティア活動を実施
- 3日目 いわき明星大学にて振り返り・活動報告会を実施

ボランティア活動報告会

2018年度は、ボランティア活動報告会を4回開催いたしました。毎回ごとにテーマを設定し、第1部では学生からの活動報告、第2部では参加者と学生によるグループディスカッションを実施しました。学生たちからは、「グループディスカッションは、最初とても緊張したが、学外の方からのお話は興味深く、勉強になった」、「同じテーマで活動している学生が集まりおもしろかった」といった感想が聞かれました。非常に貴重な情報交換の場となったようです。

- 第1回 災害復興活動(2018年10月)
- 第2回 子ども支援活動(11月)
- 第3回 地域貢献活動(12月)
- 第4回 卒業する4年生からの活動報告&地域交流会(2019年1月)

「第5回 ぼらチャレンジ」を開催

「明星大学生が近隣地域と連携して取り組む社会貢献活動」をテーマに、ボランティアサークル・グループから活動プロジェクトのアイデアを募り、2018年7月8日に各団体がプレゼンテーションを行いました。審査の結果、6団体が活動費の助成を受け、新たな企画に取り組みました。受賞団体と企画内容は、以下の通りです。また2019年1月15日には、成果を披露する報告会を実施しました。

- 憩い処明星 高齢者ふれあいサロン：高幡台団地でのサロン活動の活性化
- 減災プロジェクト Fine：福島県でのスタディーツアーの企画
- SEASON：クライミングチャレンジ(子どもたちとの登山)
- 虹色の薔薇の会：岩手県田野畑村での災害復興・地域支援活動
- Merci：大学近隣の程久保地区での高齢者支援
- レインボーサイン：子ども支援・宿題片付け隊



ボランティアセンター Newsletter

第2号 2019.4.1 Vol.02

編集後記

ボランティアセンターの第2号ニュースレターをお届けします。明星大学は“日本一”ボランティア活動が盛んな大学だと思っています。事実、ボランティア活動を行う学生の延べ数は年間1万人を超えます。ぜひ、そうした学生たちの活動を紙面で感じていただけたらと思います。
(浅井正行：ボランティアセンター センター長・人文学部福祉実践学科 教授)